

県スポ だより NAGANO

スポーツくじ



県スポだよりはスポーツ振興くじ
の助成を受けて発行しています

長野から世界をめざす
新たなスタートラインに13名



SWANプロジェクト

スワン Superb Winter Athlete NAGANO



13期生開講式

令和3年11月27日(土) エムウェーブ

「県スポだより」は、
本会ホームページでもご覧いただけます。



<http://www.nagano-sports.or.jp/tayori/index.html>

CONTENTS

- ・第77回国民体育大会冬季大会 2~3
スケート競技会・アイスホッケー競技会
大会概要及び本部役員・長野県選手団名簿
- ・SWANプロジェクト 13期生開講式・記念講演 4
- ・第2回体力向上・スポーツ医科学専門委員会 4
- ・会議報告 5~6
競技力向上正副委員長会議 他
- ・スポーツ少年団 6~7
J S P O - A C P 都道府県普及促進研修会
県競技別交流大会実施状況
活性化事業「特別講演会」開催予定
- ・競技団体紹介 8・9
長野県テニス協会
長野県山岳協会
- ・全国大会等スポーツ情報 10

令和4年(2022年)
1月31日発行

第296号

第77回国民体育大会冬季大会

スケート競技会・アイスホッケー競技会

I 大会概要及び本部役員

1 会 期 令和4年1月24日(月)～1月30日(日)

2 会 場 地 栃木県日光市

3 日程と会場 ◎開始式・表彰式 ○競技日

会場 地	式典・競技	日 程							会 場
		令和4（2022）年1月							
		24 月	25 火	26 水	27 木	28 金	29 土	30 日	
日	開 始 式	◎							日 光 市 今 市 文 化 会 館
	表 彰 式	ス ケ ー ト アイ ス ホ ッ ケ ー				◎			観 光 ホ テ ル 日 光 千 姫 物 語
光	ス ケ ー ト	ス ピ ード		○	○	○	○		日 光 市 霧 降 ス ケ ー ト セ ン タ ー
		シ ョ ー ト ラ ッ ク	○	午前 ○					今 市 青 少 年 ス ポ ー ツ セ ン タ ー 屋 内 ス ケ ー ト リ ン ク
		フ ィ ギ ュ ア	○	○	○	午前 ○			栃 木 県 立 日 光 霧 降 アイ ス ア リ ー ナ
市	アイスホッケー				午後 ○	○	○	○	栃 木 県 立 日 光 霧 降 アイ ス ア リ ー ナ
					○	○	○	○	日 光 市 細 尾 ド ー ム リ ン ク
				○	○				今 市 青 少 年 ス ポ ー ツ セ ン タ ー 屋 内 ス ケ ー ト リ ン ク

4 役員・監督・選手数 (単位:人)

項 目	役員	監督	選 手			マルチサポート スタッフ・ 支援コーチ等	合 計
			男	女	計		
本 部 役 員	19						19
ス ケ ー ト	ス ピ ード	4	16	16	32	5	41
	シ ョ ー ト ラ ッ ク	3	7	6	13		16
	フ ィ ギ ュ ア	1	2		2	1	4
アイスホッケー		1	16		16	4	21
合 計	19	9	41	22	63	10	101

5 本部役員

役職名	氏 名	所 属
団 長	林 泰章	長野県スケート連盟名誉会長 (公財)長野県スポーツ協会副会長兼理事長
副 団 長	宮下 富夫	長野県アイスホッケー連盟会長
〃	加藤 邦人	長野県スケート連盟会長
総 監 督	山岸 文典	長野県スケート連盟理事長
顧 問	茅野 繁巳	(公財)長野県スポーツ協会専務理事
〃	北島 隆英	(公財)長野県スポーツ協会常務理事 (県教委スポーツ課長)
〃	菊池 毅彦	長野県スケート連盟副会長
〃	上原 健治	長野県アイスホッケー連盟副会長
ス ポ ー ツ ド ク タ ー	加藤 光朗	長野県スポーツドクター協議会 (長野赤十字病院)
ス ポ ー ツ ド ク タ ー	三井 勝博	長野県スポーツドクター協議会 (県立信州医療センター)
ス ポ ー ツ ド ク タ ー	相澤 充	長野県スポーツドクター協議会 (柳澤クリニック分院)
総 務	伊東 一雄	(公財)長野県スポーツ協会事務局長
〃	小林 幸良	長野県スケート連盟事務局次長
〃	藤澤 文隆	(公財)長野県スポーツ協会総務課長
〃	片瀬 秀一	(公財)長野県スポーツ協会競技課長
〃	鹿野恵利子	(公財)長野県スポーツ協会指導主事
〃	小林 勇満	(公財)長野県スポーツ協会主事
〃	田島 康彦	(公財)長野県スポーツ協会幹事 (県教委スポーツ課体育スポーツ振興係長)
〃	奥原 貴彦	(公財)長野県スポーツ協会幹事 (県教委スポーツ課指導主事)

II 監督・選手

◇監督

1 スピードスケート

監督4名 選手32名(男16名 女16名)計36名

成年男子.....

◇野明 弘幸 岡谷南高校教員

<500/R>

長谷川 翼 日本電産サンキョー

<5000>

伊藤 貴裕 日本電産サンキョー

<500補/1000/R>

山田 将矢 日本電産サンキョー

<1500補/5000/R>

土屋 陸 日本電産サンキョー

<1500/5000補/R>

ウリアムソ綱 日本電産サンキョー

<1500>

伊藤 誠悟 早稲田大学

<500/1000補/R>

久保 向希 日本電産サンキョー

<1000/R>

三井 晃太 専修大学

成年女子.....

◇黒沢 誠 佐久長聖高校教員

<1000/R>

両角ほのか 信州大学

<500/R>

藤原 美来 大東文化大学

<1500/3000補/R>

賀来 真穂 大東文化大学

<500/R>

上條 真綺 山梨学院大学

<1500補/3000>

百瀬 愛美 信州上諏訪温泉浜の湯

<3000/R>

小山 香月 日本電産サンキョー

<1000補/1500>

矢澤 明里 高崎健康福祉大学

<500補/1000/R>

松本 芽依 信州大学

少年男子.....

◇畠山 薫 市立長野高校教員

<500/1000/R>

高見澤匠牙 小海高校

<500/1000/R>

吉澤 翔 地球環境高校

<500補/1500補/R>

渡邊 一牙 市立長野高校

<5000/10000>

中村龍太郎 長野工業高校

<1000補/1500/R>

井出 雄斗 小海高校

<1500/R>

原 瑞樹 小海高校

<5000/10000/R>

菊原 颯 市立長野高校

<5000補/10000補>

吉澤 柊威 小海高校

少年女子.....

◇市川 英彦 小海高校教員

<500/1000/R>

野明 花菜 岡谷南高校

<500/1000/R>

北原 伊織 岡谷東高校

<500補/R>

清水 叶華 伊那西高校

<1000補/R>

林 ひよな 東海大諏訪高校

<1500/3000/R>

畠山 雪菜 小海高校

<1500補/R>

宮川 笑佳 長野東高校

<3000補>

賀来 春音 岡谷南高校

<1500/3000>

鈴木 花梨 須坂創成高校

2 ショートトラック

監督3名 選手13名(男7名 女6名)計16名

成年男子.....

◇新井 秀幸 自営
 <500/1000/R>
 菊池 哲平 帝産クラブ
 <500/1000/R>
 小黑 義明 三菱電機
 <500補/1000補/R>
 新井 雄貴 日本大学
 <R>
 高見澤光希 専修大学
 <R>
 大門 飛路 日本大学

成年女子.....

◇小澤 竜一 日本電産サンキョー
 <500/1000/R>
 小池 佑奈 麒麟フィナンシャルホールディングス
 <500/1000/R>
 篠原 理沙 帝産クラブ
 <R>
 宮澤 里緒 信州大学
 <500補/1000補/R>
 宮澤 茉那 八戸学院大学

少年男女.....

◇小沢 竜一 日本電産サンキョー

少年男子.....

<500/1000>
 林 康生 地球環境高校
 <500/1000>
 北原 伊吹 岡谷東高校

少年女子.....

<500/1000>
 新海彩菜恵 野沢北高校
 <500/1000>
 宮下 心夢 岡谷東高校

3 フィギュアスケート

監督1名 選手2名(男2名)計3名

少年男子.....

◇佐々木優衣 自営
 長田 瑛 諏訪清陵高校
 大久保政宗 長野日大高校

4 アイスホッケー

監督1名 選手16名(男16名)計17名

成年男子.....

◇酒井 大輔 COCORO社会保険労務士法人
 小池 丈二 三菱地所株式会社
 荒木 悠 笹屋農園
 大塚 脩世 早稲田大学
 塚本 怜司 上田信用金庫
 務台慎太郎 早稲田大学
 相澤 佑哉 青山学院大学
 坂本 大地 坂本ファーム
 青木優之介 長野市役所
 青木孝史朗 長野市役所
 牛来 森都 三井住友銀行
 山本健太郎 つなぐフィットネス
 亀田 歩夢 明治大学
 丸山 詳真 明治大学
 大塚 鵬蒼 早稲田大学
 田中 裕人 早稲田大学
 山崎 創也 東洋大学

Ⅳ マルチサポートスタッフ・支援コーチ**1 マルチサポートスタッフ 計4名**

スピードスケート.....
 小林 真実 相澤病院
 小松 清視 やまびこスケートの森
フィギュア.....
 村田 光弘 アイスビレッジ
アイスホッケー.....
 清水 隆 一心道整骨院

2 支援コーチ 計6名

スピードスケート.....
 井出 敏彦 長野高校教員
 今村 俊明 日本電産サンキョー
 大澤 航 駒ヶ根工業高校教員
アイスホッケー.....
 土屋 翔 (株)リユークンハイム
 上原 健治 長野県アイスホッケー連盟
 橋詰 洋一 長野県アイスホッケー連盟



第77回国民体育大会冬季大会 結団式及び監督会議 開催

令和4年1月12日(水)

冬季競技の結団式(スケート競技、アイスホッケー競技、スキー競技)及び監督会議が、県スポーツ会館で開催され、林泰章団長の挨拶に続き、原山隆一教育長からは、4年ぶりとなる冬季大会終了時点での天皇杯1位への期待と「冬の王者 ながの」の名をとどろかせてほしいとの激励の言葉のち、選手団には、記念品が贈呈されました。





13期生開講式&記念講演

『SWANプロジェクト』13期生開講式が11月27日(土)、長野市エムウェーブで行われました。

実行委員会委員長の尾島信久・長野県教育委員会事務局教育次長から13期生13名に認定証とSWANバッジが授与され、お祝いの言葉をいただきました。

ご来賓の公益財団法人日本スケート連盟理事・スピード部長の川上隆史様から熱い激励のお言葉をいただいた後、13期生全員から力強い決意表明が行われました。

引き続き、現役メンバーを代表して12期生割田雄大さんから13期生に対して、温かい激励の言葉が送られました。

開講式の後に開催された記念講演で

は、講師の平昌五輪スピードスケート競技日本代表選手 山中大地氏(株式会社電算)から「夢をかなえるために」と題してご講演いただきました。山中氏は、自身のこれまでの努力、心がけてきたことを体験を交えて語りかけていただき、夢をかなえるためには、①覚悟をもつこと(情熱、感謝)、②行動すること、③自分を積み上げること、④自信を持つこと、⑤楽しむこと(成長、競技を楽しむ)が必要なことだとアドバイスしていただきました。

13期生の皆さんには、この日の喜びと決意を忘れずに、夢の実現に向けて努力を続けられることを期待します。

がんばれ13期生★



尾島信久実行委員会委員長



認定証授与



山中大地氏による記念講演

第2回 体力向上・スポーツ医科学専門委員会開催

令和3年11月25日(木)



第2回体力向上・スポーツ医科学専門委員会が県スポーツ会館で開かれました。

報告事項として、医科学スタッフ派遣事業(マルチサポート事業)の中間報告や7月に行われた指導者ミーティングのアンケート結果などが報告されました。

協議事項として、来年度の研修会・指導者ミーティングの内容が検討されました。また、競技力向上対策本部医科学専門委員会と合同で研修会を開催することが提案されました。

会議報告

競技力向上専門委員会 正副委員長会議

〔令和3年12月9日(木)〕

県スポーツ会館で、競技力向上専門委員会正副委員長会議が開催されました。



競技団体理事長・競技力向上専門委員 合同会議（国体種目）

〔令和3年12月16日(木)〕

長野県自治会館で、国体種目の競技団体理事長・競技力向上専門委員合同会議が開催されました。



【報告事項】

- (1) 第42回北信越国民体育大会成績について
- (2) 競技団体訪問について
- (3) マルチサポート事業について
- (4) 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会「競技会場地市町村」の選定について
- (5) 休日の部活動の段階的な地域移行について

【協議事項】

- (6) 競技力向上対策本部より
- (7) その他
- (1) 令和4年度競技力向上対策基本方針(案)等について
- (2) その他

【連絡事項】

- (1) 令和4年国民体育大会等日程について

- ① 第43回北信越国民体育大会日程について
- ② 第77回国民体育大会日程について
- ③ 第78回以降の国民体育大会の予定について
- (2) SWANプロジェクトについて
- (3) 第82回国民スポーツ大会に向けた「チーム長野」の挑戦
- (4) その他

令和3年度 競技団体ヒアリング

〔令和3年11月8日(月)～22日(月)〕

国体競技種目の競技力の強化・向上に向けた加盟競技団体ヒアリング（夏季競技）が11月8日から11月22日まで、県スポーツ会館において開催されました。

今年度のヒアリングは、初めての試みとして、各団体のガバナンスコードへの対応状況について確認した後、28年長野国スポに向けた競技力向上対策について、熱心な意見交換が行われました。

今後、長野県競技力向上対策本部を中心として、長野県・市町村、競技団体、学校体育団体等県内関係団体が連携し、長野県が一体となって、2028年長野国スポでの天皇杯及び皇后杯の獲得を目指して取り組んでいきます。

ガバナンスコード適合性審査 ヒアリング調査

〔令和3年11月18日(木)～26日(金)〕

加盟競技団体におけるガバナンスコードを遵守した組織運営の推進を図るため、今年度初めての取組として加盟競技団体ガバナンスコード適合性審査の対象団体に対するヒアリング調査が11月18日から11月26日まで、県スポーツ会館において行われました。このヒアリング調査は、適合性審査の予備調査の一環として実施するもので、今回は、13競技団体の理事長、事務局長、ガバナンス担当の皆さんにご出席いただき、当協会事務局（調査チーム）から審査書式（様式第2号）の記載内容についてヒアリングを行いました。

今年度の適合性審査については、12月15日に審査委員会が開催され、14競技団体について総合評価が決定されました。



会 議 報 告

地域スポーツ推進団体連絡会議開催

【令和3年12月21日(木)】

地域スポーツ推進団体連絡会議が12月21日(火)、ホテル国際21(長野市)で行われました。この連絡会議は、令和3年度地域スポーツクラブ推進体制基盤強化事業(JSPPO委託事業)の取組の一環で、スポーツによる地域課題の解決に向けた取組を検討することを目的として設置されました。

当日は、本会議構成員である県総合型クラブ連絡協議会、県スポーツ少年団、県スポーツ推進委員協議会、県スポーツ課、県体育センター、県スポーツ協会の代表者が出席し、各スポーツ推進団体から地域スポーツ推進の現況と課題、県スポーツ課から休日の部活動の段階的な地域移行について、それぞれ報告されました。引き続き、スポーツ推進団体の連携のあり方、休日の部活動の段階的な地域移行への関わり、協力のあり方等について意見交換されました。

第2回連絡会議は、令和4年2月14日(月)に開催される予定です。



スポーツ少年団

nagano
junior sports
clubs association

令和3年度アクティブ・チャイルド・プログラム (JSPO-ACP) 都道府県普及促進研修会 開催

12月4日(土)塩尻市の吉田東公民館および塩尻市立吉田小学校体育館で、令和3年度アクティブ・チャイルド・プログラム(JSPO-ACP)都道府県普及促進研修会が、公益財団法人身体教育医学研究所の渡邊真也指導部長を講師にお招きし、開催されました。

加盟競技団体及びスポーツ少年団の役員や指導者など34名が参加し、アクティブ・チャイルド・プログラムの理論の講義を受講した後、会場を体育館に移して、運動遊びの実技が行われました。

フラフープや新聞紙などを使った様々な実技を通して、運動遊びの展開の仕方や指導のポイントなどを詳しく教えていただき、実りある4時間の研修会となりました。




スポーツ少年団

 nagano
junior sports
clubs association

県競技別交流大会一覧

市町村	競技	開催日	会場	参加チーム数	参加者数	備考
佐久市	軟式野球	7/3	浅科総合グラウンド他	21	306	当日雨天のため中止
高山村	硬式野球(中学生)	7/3~4	高山村 北部グラウンド他	12	230	
長野市	ミニバス	7/18	長野運動公園総合体育館他	48	598	
安曇野市	空手道	7/3	安曇野市 穂高総合体育館			新型コロナウイルス感染症の影響により中止
飯田市	柔道	8/22	飯田市 市武道館			長野県新型コロナウイルス感染症対策強化期間のため中止
小布施町	サッカー	9/12	小布施町 栗ガ丘小学校グラウンド			
富士見町	バレーボール	9/11~12	富士見町 町民センター			
長野市	少林寺拳法	9/12	長野市 南長野運動公園総合体育館			
長野市	硬式野球(小学生)	9/18・25	長野市 犀川河川敷グラウンド			
高森町	ラグビー	9/26	高森町 町民グラウンド			新型コロナウイルス感染症の影響により中止
飯田市	パドミントン	11/6	飯田市 市上郷体育館			
安曇野市	剣道・なぎなた	11/7	安曇野市 穂高西中学校体育館	21	167	
高森町	卓球	12/19	高森町 町民体育館	7	54	当初予定10/3→12/19
計				109	1,355	

スポーツ少年団緊急対策プロジェクト 令和3年度長野県スポーツ少年団活性化事業「特別講演会」

**開催
予定**

- 1 期 日** 令和4年2月27日(日)
- 2 会 場** アルピコプラザホテル 3階 コミチナ
〒390-0815 松本市深志1-3-21 電話：0263-36-5055
- 3 実施日程**
- 13:00~13:45 受 付
- 13:45~14:00 開 会 式
- 14:00~15:30 特別講演
講師：日本体育大学体育学部教授 伊藤 雅充 氏
- 15:30~15:45 質疑応答
- 15:45~16:00 閉 会 式

4 参加対象

- (1) スポーツ少年団関係者(指導者、役員・スタッフ、事務担当者)
- (2) 郡市体育(スポーツ)協会関係者
- (3) 競技団体関係者
- (4) 総合型地域スポーツクラブ関係者

○詳細については、長野県スポーツ少年団事務局までお問い合わせください。

加盟競技団体の紹介

長野県テニス協会

硬式テニスは世界中で親しみのあるスポーツであるが、日本では長年にわたりテニスといえばソフトテニスという時代が続いていた。第2次世界大戦後の復興とともに一般的となり、1970年代以降のブームに乗り大きく普及が進んだ。また、近年では砂入人工芝コートの普及と、室内コートの増設により冬場でもテニスのできる環境が整いつつある。各種新素材の発明とスポーツ科学の発達によりプレイスタイルも日進月歩で高速化が目覚しい。一方、普及レベルでは学校スポーツの不活発化、一般競技者も減少傾向にあり、競技スポーツとしてのテニスと健康づくり・コミュニティ形成としてのテニスの二極化に対してどう適応させていくかが協会に課された課題となっている。

1. 沿革

1955年に「長野県庭球協会」として発足。1961年には長野県高体連の庭球部に男子3校（深志・松商学園・上田）女子（松商学園）が加盟、以降急速に高校に部活ができた。2001年には長野県中学校テニス連盟が加盟、これを機にテニス部の中体連加盟の支

援を行っているが、中学校において部活動自体の見直しの時期とも重なり苦戦している。2004年には創立50周年を迎え記念誌を発刊した。

2. 協会の歩み

(1) 主たるトピックス

1978年には第33回国民体育大会「やまびこ国体」を松本市浅間温泉庭球公園にて開催。1980年にはランキング制度を運用開始、シード選手基準の適正化を図り、現代のインターネット上でのシステム運営に継承されている。1982年にオール信州エプソンカップが開催され、1000名の参加を超える県内最大級の大会に発展し、テニスブームのピークを迎えたが1998年をもって終了する。その後競技人口の減少が顕著となる。

(2) 選手強化の成果

主として松商学園における強化の成果により、近年全国レベルにおいて目覚ましい結果を残している。特筆すべきは、1983年、第38回群馬国体、少年男子ベスト4、1997年、第19回全国選抜高校大会、松商学園高校、女子団体ベスト4、2007年、第62回秋田国体、少年男子第4位、2012年、第

102回全国高校大会、松商学園高校、諱五貴・西脇一樹が男子ダブルス優勝、牧野菜摘・野崎真帆が女子ダブルス準優勝。諱、西脇は明治大学に進み、2015年、2016年、と全日本大学選手権などで大活躍するとともに、第71回岩手国体では成年男子第3位と貢献した。2017年には第107回全国高校大会において松商学園高校、女子団体準優勝、川島和美・笠原沙那が女子ダブルスベスト4の快挙を成し遂げた。一方、実業団でも2000年、第38回全国実業団大会（B）でシメオ精密男子団体優勝、2018年、第57回全国実業団大会（B）でキッセイ薬品工業、女子団体優勝といった快挙もあった。

(3) 普及への試み

近年は競技者の減少に歯止めがかからない中、ジュニアからテニスに馴染んでいただくため、PLAY&STAY、テニピンなどの試みに力を入れている。また、各地のジュニア育成の指導者の力により小学生年代の選手が全国大会にて優秀な成績を収め、2028年の長野国スポに向けて明るい材料となっている。



2016年岩手国体
西脇一樹・諱五貴 選手



2021年、テニピン指導者講習会
テニピンは各種ラケットスポーツに繋がる普及活動

加盟競技団体の紹介

長野県山岳協会

会長 杉田浩康

長野県山岳協会は、1961年に、“正しい登山の指導と普及”を目的に設立され60年を迎えました。

これまで、加盟団体の日常的な登山を基本に、遭難対策や技術向上を目指した合同研修会、加盟団体から参加者を募っての海外遠征登山、自然保護活動など様々な活動を行ってきました。また2012年から長野県山岳総合センターを指定管理者として運営しています。

【岩登りから

スポーツクライミングへの進化】

1946年、戦後いち早く開催された第1回国体では写真展示だけでしたが、第2回大会からは合同登山が行われました。このことは“登山文化”が深く人々の生活に根付いていたことを伺わせます。1976年の「やまびこ国体」では山岳競技は“縦走”“踏査”“登攀”の3種目で行われ総合優勝しました。その後2008年大分大会から“登攀”だけになり、2019年からは“スポーツクライミング”と名称が変わり、現在は“リード”と“ボルダリング”の2種目で



リード



ボルダリング

行われています。このことは1976年旧ソ連力フカズで行われた第1回の国際岩登り競技会を皮切りに、世界的に競技としてのポテンシャルが認められ、今のインドアで人工壁を使った競技に進化してきたことを反映しています。そして今年行われた東京オリンピックでは正式種目に採用されるに至っています。このように元は登山の一分野であった“岩登り”が全く別物とあって良いほどの“スポーツクライミング”に進化してきました。

【リード競技とボルダリング競技】

リード競技は、前傾した高さ12m以上でルート長さ15m以上の壁に取り付けられたホールドを使って登った高さを競います。墜落の危険を回避するためにロープを付けて登ります。ボルダリングは、高さ5m以内で90度以上の傾斜を持つ壁に作られた課題と呼ばれるルートをいくつか登ったかで競います。

【課 題】

この急激な進化の結果2つの問題が生まれました。1つめは、もともと登山は競技性に乏しくスポーツクライミングに対する協会員の関心が低いこと。2つめは“岩登り”のフィールドは山岳県である長野県内には数多くあるのですが、競技や日常的トレーニングを行う“人工壁”は限られており、このことで多大な労力と経費が強いられ競技力向上の大きな障害となっていることです。

【今後の取り組み】

課題はありますが、私たち長野県山岳協会は、“登山”の文化を大切にし守り伝えつつ、登山から派生し競技として生まれ変わった“スポーツクライミング”の普及に努めていきます。



初登頂！雪拉普崗日（シュエラブカンリ 6,310m） 2018-09-13

全国大会等スポーツ情報

大会名	成績	出場チーム名	備考
第72回全国高等学校駅伝競走大会（男子）	5位	佐久長聖高校	24年連続24回目
第33回全国高等学校駅伝競走大会（女子）	7位	長野東高校	15年連続15回目
第100回全国高等学校サッカー選手権大会	2回戦 (初戦)	市立長野高校	初出場
第101回全国高校ラグビーフットボール大会	2回戦	飯田高校	2年ぶり10回目
春の高校バレー 第74回全日本高等学校選手権大会	2回戦	(男子) 岡谷工業高校	15年ぶり30回目
	2回戦	(女子) 東京都市大塩尻高校	4年連続9回目
第74回全国高等学校バスケットボール選手権大会	2回戦	(男子) 東海大付属諏訪高校	8年連続22回目
	1回戦	(女子) 佐久長聖高校	14年ぶり14回目
第35回全国都道府県対抗中学バレーボール大会	2回戦	男 子	
	1回戦	女 子	
第29回全国中学校駅伝大会	19位	(男子) 駒ヶ根市立赤穂中学校	初出場
	31位	(女子) 長野市立川中島中学校	9年連続9回目



www.toto-dream.com www.toto-growing.com ©19歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁じられています。払戻金も受け取れません。運営・販売：独立行政法人日本スポーツ振興センター